

北海道東方沖地震から14年。

突然襲う災害から

身を守るために！



# 災害への備えが大切

## 地震への備え

根室市は、日本有数の地震多発地帯であり、政府の地震調査委員会では、今後30年以内に震度6弱以上の地震に襲われる地域として、道内の中で最も高い確率の45・7%と発表しました。

このため、日ごろから家庭

⑦ 応急手当の知識を身に付ける。

### ▽家具などの転倒・落下・飛散防止

- ① 家具やテレビ、パソコンなどをしっかり固定し、転倒や落下を防止する。
- ② 窓や食器棚などのガラス部分に、飛散防止フィルムなどを貼る。

③ 家の中に、地震時の逃げ場所となる安全なスペースを確保する。(玄関や廊下など通路には、家具や荷物を置かない。)

④ 花瓶などを高いところに置かないようにする。

⑤ 床に散乱したガラスなどでけがをしないように、普段から厚手のスリッパの使用を心がける。

### ▽非常備蓄品リスト

- ① 食料 主食と惣菜に分け、保存できるものを家族構成に合わせて用意する。
- ② 水 断水に備え、一人一日3ℓを目安に用意する。

(煮炊きや飲み水などに利用)

- ③ 照明 停電に備え懐中電灯を用意し、ろうそくは火災防止のため極力使用しない。

- ④ 暖房・調理器具 Ⅱカセット

などにおいて防災対策を行うことが大切です。

### ▽家族の防災会議

- ① 家族があわてずに行動できるように、役割分担を決める。
- ② 家の中で、一番安全な場所はどこなのかを確認する。
- ③ 非常持出品の点検と保管場所を確認する。
- ④ 避難場所や避難路を実際に家庭で下見し、確認する。
- ⑤ 消火器具の点検、使用方法、設置場所を確認する。
- ⑥ 家族が離ればなれになったときの、連絡方法や集合場所を確認する。

市内に多くの被害をもたらした平成6年10月4日発生の北海道東方沖地震から、14年が経過しようとしています。

近年、世界各地で大規模な地震が発生しており、特に今年5月、中国四川省を震源とする大地震が発生し、建物の倒壊などにより、多くの尊い命が奪われました。

また、国内においても、6月に震度6強を観測した岩手・宮城内陸地震が発生し、甚大な被害をもたらしたのは記憶に新しいところです。

災害は、「いつ」「どのように」襲ってくるかわかりません。一人ひとりが防災意識を高め、日ごろから家族や地域で防災について話し合い、災害に対する備えを怠らないように心がけましょう。